

平成24年11月13日  
福島県農林水産部

## 県産材製材品の表面線量調査の結果について

- 1 目的  
県内の製材工場において、製材品の表面放射線量を定期的に測定し、現在出荷されている県産材の安全を確認する。
- 2 調査時期 平成24年9月3日～平成24年11月6日
- 3 調査事業者数  
対象工場聞き取り調査の結果、現在県産材を製材、出荷している156事業者について調査した。
- 4 調査方法（製材品の表面線量調査）  
各調査工場の出荷製品について、柱、梁、板材等、品目毎に3検体以上を抽出し、製材品の表面線量（単位cpm）を測定した。

### 【調査事業者の内訳】

区分	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	合計
事業者数	23	35	23	33	9	11	22	156
検体数(本)	225	217	172	254	60	76	220	1,224

### 5 調査結果

現在県産材が出荷されている156工場における表面線量調査の結果、表面線量の最大値は51cpm（0.0017 $\mu$ Sv/hに相当）であり、前回調査における最大値（61cpm）を下回る測定結果が得られた。51cpmの測定値について、放射線防護に詳しい、国立大学法人長崎大学 松田尚樹 教授及び独立行政法人放射線医学総合研究所 鈴木敏和 外部被ばく評価室長に確認したところ、環境や健康への影響はないとの評価が得られた。

参考	震災前の福島市の空間線量	(H22.2.16)	0.04	$\mu$ Sv/h
	東京都新宿区における空間線量	(H24.11.6)	0.0492	$\mu$ SV/h

### 【調査結果内訳】

区分	表面線量 (cpm)					合計
	未検出	～20	～40	～60	60以上	
工場数	60	87	6	3	0	156
検体数(本)	954	251	14	5	0	1,224

最大値：51cpm  
最小値：0cpm  
平均値：2cpm

## 6 現在までの調査結果について

昨年12月、本年3月、6月に調査を実施した。(計3回)

区分	調査時期	工場数	検体数	表面線量の最大値 (cpm)	備考
第1回	H23.11.1 ~12.7	31	544	50	県内の主要な工場について実施した。
第2回	H24.1.25 ~3.8	49	321	92	線量の高い県北、相双、県中の一部地域において稼働している全ての工場で実施した。
第3回	H24.6.4 ~7.2	135	1,058	61	県産材を製材出荷している全ての工場で実施した。
今回調査	H24.9.3 ~11.6	156	1,224	51	県産材を製材出荷している全ての工場で実施した。

## 7 今後の対応

今回と同様の調査を定期的(3ヶ月に1回)に行い、製材品の安全を確認する。

### < 参考 >

cpm(測定値)から $\mu\text{Sv/h}$ への換算表

計測器の指示値 (バックグラウンドを差し引いた値)(cpm)	$\mu\text{Sv/h}$
100	0.0033

独立行政法人：産業技術総合研究所作成

詳細については下記URLを参照してください。

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/rad-accur/pdf/case\\_study\\_1\\_table\\_j.pdf](http://www.aist.go.jp/aist_j/rad-accur/pdf/case_study_1_table_j.pdf)